

富士山サミット in SHIZUOKA

相模原障がい者殺傷事件を通して命と暮らしを考える

静岡市静岡手をつなぐ育成会
会 長 中村 章次

はじめに

2016年7月26日神奈川県相模原「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件は、いかなる理由があろうとも絶対許すことのできない事件であります。

「この世に誰一人としていない命はありません。」被害に遭われた方々のご家族の無念の思い、悲しみと悔しさは如何ばかりかと、今更ながら怒りが込み上げてまいります。

本人の自己選択を大切に

私は、同じ立場の障がいを持つ子どもの親としても、負傷された皆様の一日も早い心身の回復を心より願うとともに、「津久井やまゆり園」に入所されていた皆様の今後の生活において、「本人の声をよく聞き」、本人と家族に寄り添った支援の在り方で対応する事が、最も重要であると考えます。

施設も地域も大切

地域移行が叫ばれる中、いつ、どこで、誰と、どの様に暮らすのかは、本人主体で考えることが大切であり、本人が幸せに感じ落ちて暮らせる場所が最適ではないでしょうか。施設か地域かといった選択肢的な考えではなく、施設も地域も大切だ、という視点が大切であると思います。

「津久井やまゆり園」の当事者・家族・職員の皆さまが、様々な困難を抱えながら時間をかけて築いてきた人間関係や信頼関係を大切にして、次に進もうとしているその願いに寄り添い、人権を最大限尊重し、暮らしの質の向上のために英知を結集し、今後のモデルとなるような方向性を築くことを心より願うものであります。

事件を風化させない

このような悲惨な事件が再び起こらないよう、事件の背景にある弱者切り捨ての優生思想や社会的背景についてしっかりと検証する必要があります。そして「津久井やまゆり園」の事件を風化させてはなりません。本日まで参加の皆様をはじめ、多くの皆様に障がいのある人、「一人ひとりの命の重さに」思いを馳せていただくよう心よりお願いいたします。

育成会は権利擁護団体です

知的障がいを持つ人と家族で作る「全国手をつなぐ育成会連合会」は、事件の起きた翌日に「津久井やまゆり園の事件について」の声明文をいち早く出すとともに、逮捕された植松容疑者が「障がい者なんていなくなればいい」という趣旨の供述をしたという報道を受けたことにより、障がいを持つ人から「僕生きていていいの。」「こわい。」、兄弟からは「お兄ちゃんはどうなるの。」などの不安な声が広がっている事を聞き、全国手をつなぐ育成会連合会は「私たち

家族は、全力でみなさんのことを守ります。ですから安心して、堂々と生きてください。」と本人達に向けて緊急声明を出し、心からの訴えを発信したのです。

「手をつなぐ育成会」は、障がいを持つ人の人権や権利を擁護する団体であり、障がいの有る無しにかかわらず、互いに人格と個性を尊重しながら、普通に生きられる社会の実現を目指して皆様とともに頑張る決意であります。

この事件で見えてきた差別社会と優生思想

さて、このような残虐で、障がい者差別の最たるものとして起こった事件の背景には、福祉の脆弱性ととともに差別意識や優生思想からくる偏見が、今だ根強く存在している事も指摘をしておかなければなりません。

容疑者が衆議院議長あてに送った手紙の中で

- ・障がい者は不幸を作る事しかできない
- ・保護者の疲れ切った表情、職員の生気のかけた瞳
- ・私の目的は、障がい者が生活及び社会生活が極めて困難な場合は、保護者の同意を得て安楽死できる世界です

などと、偏見と差別に満ちた存在否定の発言を送りつけていたこと。

事件後もネット等や、直接電話などで同様の声が数多くあがったのです。

- ・役に立たないものに税金を使うな
- ・偉そうなことを言うな
- ・自分が誰だか解っていないものは必要ない
- ・障がい者は邪魔なだけだ。

などのヘイトスピーチが飛び交う状況が起こりました。

また、1999年、当時の東京都知事が、都立の障害児施設を視察した折に「ああいう人達に人格はあるのかね。」と発言をされて物議を醸した事がありました。このような差別と人権・人格無視の発言をされた都知事が、のちも長く知事職にいられるような風土や優生保護的な考えが、私たちの心の中にも無意識のうちに潜んでいることを無視する事はできません。

安心・安全で豊かな暮らしを

障害者権利条約が批准され、障害者虐待防止法、障害者差別解消法の整備が一定に進んだのにもかかわらず、国民への周知率は20%程度なのです。

障がい者差別の最たるものとして起こった「津久井やまゆり」事件は、一団体や施設・事業所だけで、事故・事件防止を徹底することは厳しいのが現状であります。広く社会に啓発するとともに、様々な角度からの対応策や支援策を強く願うところであります。

私達は決して屈してはなりません。障がいの重い人たちに合わせ、充実した制度や仕組みを実現し、安全・安心・安定した暮らしの場を実現する事は、障がいの軽い人はもちろんの事、障がいの無い人にとっても、生きやすく、住みやすく、暮らしやすい社会になる事は明白であるからです。そのために皆様とともに力を合わせ、手をつなぎ、働きかけることを心より訴えます。